

## 平成 22 年 3 月期第 1 四半期連結決算発表

### 平成 22 年 3 月期第 1 四半期連結決算概要

当社グループは、原材料を含めたコスト低減に努力するとともに、生産性向上と研究・開発体制の強化、並びに積極的な新製品の市場への投入を推進してまいりました。

食品部門は、フラワーペースト類、油脂加工品（バタークリーム）及び商事商品の出荷は低調でしたが、主力のイーストの出荷は前年並み、総菜、マヨネーズ類及びパン品質改良剤、粉末かんすいの出荷は堅調に推移しました。バイオ部門は、製薬企業の在庫調整による需要減少、海外向け診断薬原料の輸出不振及び、実験動物や実験動物用飼料の出荷が低調でしたが、ペットフード等の受託生産や養魚飼料は、堅調に推移しました。

連結業績につきましては、売上高は 156 億 5 百万円、経常利益は 6 億 76 百万円、四半期純利益は 3 億 62 百万円となりました。

### 平成 22 年 3 月期 今期連結業績予想

平成 22 年 3 月期におきましては、引き続き営業体制、研究・開発体制の強化や海外を含めた販路拡大を推進するなどして既存事業の収益基盤を強化するとともに、新製品の積極的な上市及び拡販を推進してまいります。

また、食品部門は本年 6 月に販売子会社 2 社を合併し新たな販売体制の構築により、リテールベーカリー市場等の深耕を図るとともに、食品新市場への積極的なアプローチを推し進めてまいります。

併せて、「安全・安心」な製品をお届けするべく、トレーサビリティを強化した工場の生産管理体制を整備するとともに、製造コストの低減に向けて努力してまいります。

バイオ部門におきましては、診断薬原料の海外輸出の回復とともに、バイオサイエンス関連事業とライフサイエンス関連事業との融合による遺伝子をキーワードとした研究支援事業に経営資源を投入し、新規市場開拓に注力してまいります。

連結業績につきましては、平成 21 年 5 月 12 日に発表しました業績予想と変更はございません。

以上